

ダム洪水対応演習を実施しました

梅雨期など出水の多くなる降雨シーズンを間近に控え、5月14～15日の両日、洪水時の情報連絡やダム等施設の防災（洪水調節）操作などを的確に行うため、「洪水対応演習」が全国的に実施されました。

日吉ダム管理所においても、計画規模を超えるような、記録的な豪雨（288mm/日）による大洪水を想定し、流出予測や刻々と変化するダム流入量に対応した模擬ゲート（放流）操作演習などを実施しました。

関係機関等のご協力の下、ダム放流時の国や府、市、警察署などの関係機関との情報連絡、下流河川の警報・巡視、警報局舎のサイレンの実吹鳴やダム操作などの演習を行い、連絡網の確認や緊急防災時の対応など、実際の対応に即した効果的な演習を行うことができました。

放流警報局舎の近隣にお住まいの皆さまには、サイレン吹鳴・スピーカー放送で、ご迷惑をお掛けいたしました。

日吉ダムでは、出水・洪水時における的確な情報連絡およびダム操作等を行い、今後も桂川沿川などの洪水被害の軽減に努めてまいります。

地域や関係機関の皆様の、ご理解とご協力をお願いいたします。



（「ダム洪水対応演習」状況）



（「模擬ゲート(放流)操作演習」状況）